



第16回キッズデザイン賞

最優秀賞「内閣総理大臣賞」など各賞を本日発表！

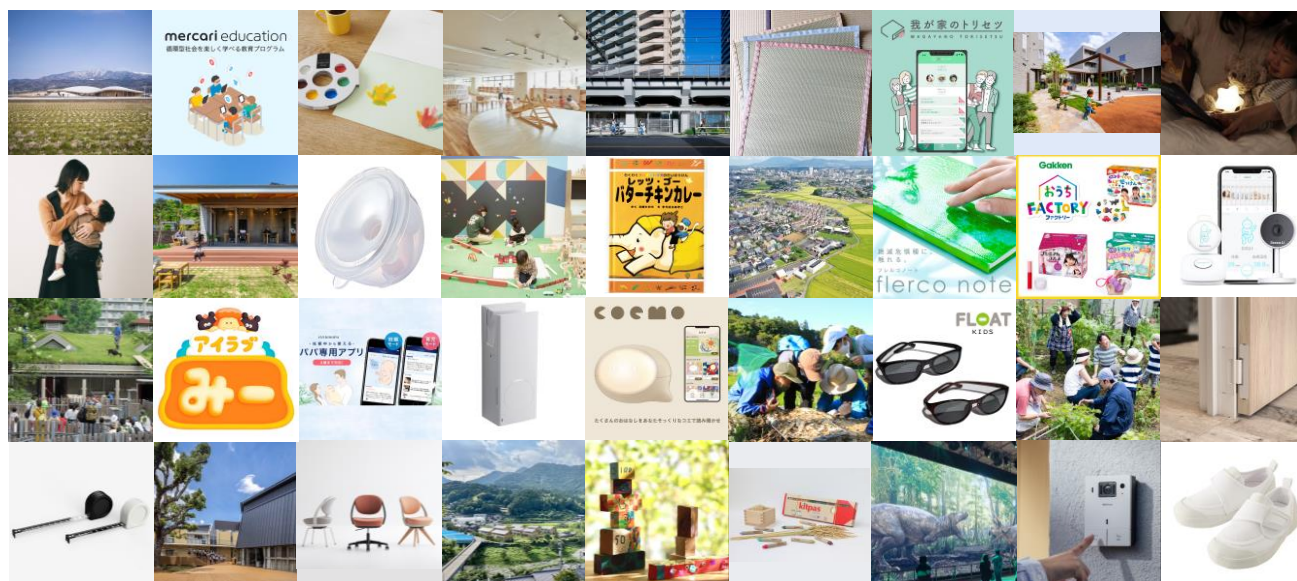
キッズデザイン協議会※1は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・サービス・空間・活動・研究などを顕彰する「キッズデザイン賞」の第16回受賞作品214点※2の中から、優秀作品へノミネートされた最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞など、36点を本日発表しました。

優秀作品に選ばれた36点は、「環境の変化に伴い地域と共に子どもを産み育てる新たな提案の広がり」「自然や人と触れ合い、子どもの創造性・自主性を生み出す機会の尊重」などの観点で優れた作品となっております。

これらの作品を通じて、受賞を機に子どもの未来が持続的で明るいものになるよう、広く社会に広がることを期待しております。

※1 キッズデザイン協議会 東京都港区 会長：坂井 和則（凸版印刷株式会社 取締役専務執行役員）

※2 16回累計での応募数は6,168点、受賞数は3,653点となりました。



◆第16回キッズデザイン賞 表彰式・シンポジウム 開催

シンポジウム「キッズデザイン 開発ストーリー2022」プログラム

■ 日 時：2022年9月28日（水）

表彰式 10：00-12：00

シンポジウム 13：30-15：00

■ 開催方法：Zoomウェビナー（無料）

■ 申込方法：下記よりお申込みください

【表彰式】

【シンポジウム】



どなたでもご視聴いただけますので、ぜひお申込みください

（事前登録制 9月28日（水）12:00締切）

最優秀賞・優秀賞
受賞9団体による
プレゼンテーション



審査委員による
受賞ポイントのコメント

登壇者

- 1部 13：30 ① 株式会社黒田潤三アトリエ
- 2部 13：50 ② 三起商行株式会社
③ 株式会社ナスタ
- 3部 14：07 ④ 株式会社トータルメディア開発研究所
⑤ ハウス食品株式会社
⑥ 株式会社メルカリ
- 4部 14：29 ⑦ 株式会社 United family
⑧ 秋山隆浩建築設計事務所
⑨ 株式会社エバーセンス
- 総括 14：50

※お時間は、多少前後する可能性がありますことをご了承ください。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

最優秀賞（内閣総理大臣賞）



『なないろこまち』

株式会社黒田潤三アトリエ / なないろレディースクリニック
【茨城県】

カフェのような待合室、別荘のような病室など、クリニックの枠を超えて、小さな町をそのまま実現しているような施設。地域に人を引きつける施設が、「この地域で子どもを産み育てたい」「ここで知り合った人々つながり続けたい」と感じさせる、リアルな触れ合いを大切にした良質な取組であり、最優秀賞にふさわしいと評価した。

優秀賞（経済産業大臣賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『ミキハウス スクールシューズ』

三起商行株式会社

【大阪府】

インソール部分に新しく匂いや細菌・ウイルスに反応する新素材の触媒を採用するなど、衛生面での配慮が向上した。子どもと大人の歩き方、荷重バランスの違いに着目した弾力性、フィット感などにも技術改良を施されている。改良・改善ポイントに対する実証データも備えており、優秀賞にふさわしい作品と判断した。

一般部門



『Nasta Interphone』

株式会社ナスタ

【東京都】

コロナ禍による在宅時間の増加、通販など宅配を使う機会の増加という今の環境において、子どものみでの留守番中の対応を心配する家庭も多いだろう。宅配ボタンを独立させることで防犯性を高めつつ、玄関カメラに24時間監視機能を付加するなど、子どもの安全につながるトータルな機能を備えている点を高く評価した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『未来を拓くジュニア科学者養成講座「ダーウィンコース&ニュートンコース」』

福岡市科学館 / 株式会社トータルメディア開発研究所

【福岡県】

「非認知能力を高める教育」や「STEAM教育」が時代の要請として求められている。博物館や科学館のコンテンツはこれらを習得するための良質な素材となる。知識のインプット、仮説を立てる訓練、伝わりやすいアウトプットなど、先入観にとらわれない、自由なクリエイティビティを伸ばす総合的講座である点を高く評価した。

リテラシー部門



『わくわくスパイストリオのだいぼうけん』

ハウス食品株式会社

【東京都】

スパイスをテーマにした食育プログラムであるが、絵本と素材を一体化させるといふ、これまでにないアプローチは高い評価に値する。本で学び、自分でスパイスを使って調理するという流れを自然に誘発させる仕掛けが面白い。食や素材に対する子どものリテラシー向上に貢献する優秀な取組で本部門にふさわしいと判断した。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

優秀賞（消費者担当大臣賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『「mercari education」循環型社会を楽しく学べる教育プログラム』

株式会社メルカリ

【東京都】

子どもをどのような未来に送り出せるかは、産業構造が大きく様変わりする中で、自分の関わる産業の「本気度」にかかっている。ネット上のフリーマーケットが新しい経済、シェアリングエコノミーを生み出しているという観点は未来の消費者行動に大きな気づきを与えられ思考される。進化するキャッシュレス経済の意味など高度なプログラムも用意されている点も本賞にふさわしい。

優秀賞（少子化対策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『ハンズフリー電動さく乳器』

株式会社United family

【東京都】

電動式さく乳器としてその利用シーンが容易に想起される、素晴らしいアイデアの作品である。ブラジャー内に装着することができ、ハンズフリーでさく乳しながら動けるというメリットは大きい。さく乳の時間も有効に使ってほしいという開発の思いをそのままデザインに活かした、子育て支援の面で優れた作品である。

優秀賞（少子化対策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『町屋高架下保育園』

秋山隆浩建築設計事務所 / Atelier HMC

【東京都】

マイナスイメージのある高架下に違和感なく、しっかりと子どもの空間を作っている点を高く評価した。保育園のニーズがあっても土地を確保できない地域での展開に一石を投じる建築。居室が道路に面して設けられているため、視認性が高く安全で、子どものいる風景が街へと表出している。地域社会部門にふさわしい作品である。

優秀賞（男女共同参画担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『パパninaru』

株式会社エバーセンス

【東京都】

2016年から続けている実績と評価からもコンテンツの良さがわかる。デザイン性もスッキリしていて好感がもてる内容だ。男性が女性を思いやるための知識を提供することで、マインドチェンジに間違いなく寄与するだろう。妊娠から出産育児の必要な情報を、「パパ」に届けるという開発の視点の良さを高く評価した。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『Sense-Uベビービデオカメラと体動センサ3』

LEDO Network Inc. / 株式会社ユニメッド

【東京都】

乳幼児突然死症候群に対するケアが医療の現場や家庭で重要視されている。本作品は据置型の小型ビデオカメラで、スマートフォンを通じて、家事や在宅ワークをしながら乳児の見守りができる、多忙な暮らしにおける子どもの安全確保というニーズに応えるものである。IoTテクノロジーを活用した見守り機能は非常に有効と評価した。

子ども部門



『キットパスミディウム ライスワックス 24色』

日本理化学工業株式会社

【神奈川県】

米ぬかから取れるワックスを活用した絵具で、安全性を高めながら、子どもの創作意欲をかき立てる文具としてのクオリティが高い。これまであまり使われてこなかった自然素材に着目し、活用した点でSDGsの視点も併せもっている。乳幼児がもし口に入れた場合の安全性と、環境への配慮と書きやすさ、発色のよさを両立させた楽しい絵具である。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

一般部門



『Parabelチェア』

株式会社オカムラ

【神奈川県】

長引くコロナ禍の状況のなかで、自宅で長時間仕事をするケースが増えている。機構部をカバーで塞ぐ、汚れにくい素材のバリエーションをもつなど、子どもがいる家庭の利用に配慮されている点が良い。腰や足の姿勢に負担がかかりにくい構造とコンパクトさを合わせもち、色彩や形態も在宅ワーク仕様に特化している。

一般部門



『薄枠丁番 HES1F-140型』

スガツネ工業株式会社

【東京都】

子どもの家庭内事故の例として指はさみ事故はよく取り上げられ、対応製品も市場に出回っている。従来の丁番のような出っ張りを外に作らず、薄い枠に納まる構造は意匠と安全性を両立させており、空間デザインの向上に寄与する。メーカーとして、こうした弛まぬ安全性への取組姿勢は評価に値するものである。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『フィンガーペイントのお絵かきセット「アトリエ ミオ」』

株式会社ティ・ディ・エス リブラグ事業部

【東京都】

指先を使って絵を描くことに特化した絵具のセット。ペンやタブレットを使ったお絵かきに対し、指先を繊細に使うことで、脳に対しても刺激を与えることが期待される。色カチを整えることを優先するのではなく、感覚的に描く行為に創造力を働かせることが大事である、という明確な主張が見て取れる良品である。

クリエイティブ部門



『シェルターインクルーシブプレイス コバル（山形市南部児童遊戯施設）』

山形市 / 株式会社夢の公園 / 大西麻貴 + 百田有希 / o+h / 株式会社シェルター / 株式会社高木 / 合同会社ヴォーチェ / 特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会（アプルス）

【山形県】

空間の開放性、作り込み過ぎない遊具のあり方や自由な発想で空間や装置を遊べる工夫が随所に見て取れる。子どもが自由にからだを動かせるようになっている点は高く評価したい。立地環境の特性に適合した先進的なプログラムが極めて高い創造性と造形性のもとで実現されている作品である。

リテラシー部門



『DinoScience 恐竜科学博 〜ララミディア大陸の恐竜物語〜』

DinoScience 恐竜科学博製作委員会2021

【東京都】

当作品は、恐竜の存在を通じて科学的な視点でアプローチをする。VRやAR、CGと骨格標本、化石標本などを組み合わせた新しい取組により、非常にレベルの高い展示となっている。きわめて完成度の高い科学博であり、別のテーマでもノウハウを展開していくことができるはず。メディアパッケージとして、全国の博物館や科学館に展開が可能なコンテンツへの発展を期待する。

リテラシー部門



『板橋区立こども動物園 〜「真の体験」がつくる地域社会〜』

東京都板橋区

【東京都】

環境学習と動物の触れ合いを両立させている良質な取組。草屋根にヤギを放し飼いにするなどの独特な展示手法も特徴的であり、子どもたちのリテラシー教育につながるだろう。動物を通じて地域コミュニティが豊かになるメリットもある。こうした取組が全国に広がり、新たな学びと体験のネットワークが構築されていくべきである。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞） 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『育てることで育む「農」のある暮らし ハナミズキ春日部・藤塚』
株式会社中央住宅
【埼玉県】
住まいながら農に関わり、自らの食の成り立ちや消費を学べる、社会提案性の高い取組である。その土地の特長や先住の方とのコミュニケーションを大切にしたいエリアブランディングを戦略的に行っており、作品の個性につながっている。建築はベーシックな機能と意匠を押さえており、すっきりとしたデザインで評価できる。

消費者育成部門



『子どもの子どもまでプロジェクト』
株式会社ピコトン
【東京都】
自らが関わったモノがどう流通し、モノを買うという行為がどのような社会的影響を与え得るかを学ぶきっかけをつくってくれる巧みなプログラム構成が素晴らしい。「子どもから子どもへのお店」という着眼点と意識のもち方がよく、教育格差の解消に貢献しつつ、生産・消費の学びとクリエイティブを融合させた良質な取組である。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『えほんライト』
株式会社マーナ / ORIGAMI DESIGN
【東京都】
子どもの寝かしつけの時間は親子にとって、貴重なやすらぎの時間でもある。お気に入りのぬいぐるみと絵本、ライトの組合せは、まさにそのためにあるような印象である。読み聞かせというシーンに特化した工夫は、親にとっては読みやすさを、子どもにとっては眠りを妨げない、絶妙な光の具合を提供してくれる。

個人・家庭部門



『エルミタージュクール』
積水ハウス株式会社
【埼玉県】
子育て世帯ならではのニーズ、例えば見守りをしながら家事のしやすい動線、外遊びを自由にさせられるような中庭、一時預かりに使えるような空間や遊び場などを備えた賃貸住宅であり、「子育て」に特化した思い切った空間提案として高く評価した。賃貸住宅の共用部でここまでの設備と取組は貴重であり、ニーズも高いだろう。

地域・社会部門



『coしぶや 渋谷区神南ネウボラ 子育て支援センター』
まちの研究所株式会社 / ナチュラルスマイルジャパン株式会社 / 株式会社良品計画
【東京都】
ネウボラを銘打っていても、従来の子育て支援の焼き直しに留まっている活動も散見される中、これは本格的な取組である。施設面も充実しており、人的な支援体制も整備されて、安心して子育てに取り組めるだろう。特に空間づくり、環境教育など多様なプログラムの創発方法に高いクリエイティビティが発揮されている。

地域・社会部門



『神山村・大埜地の集合住宅』
神山村 / 神山村のあす環境デザイン共同企業体 / 一般社団法人神山村つなぐ公社
【徳島県】
高齢化や人口減少に直面する地域のロールモデルとなり得る作品である。町域が非常に広く同世代での遊びが少ない、移住希望があっても物件数が限られているなど、様々な地域に共通する課題に対し、地域の人材や資源の活用、コミュニティづくりでの子育て支援など、ハード、ソフト両面から取り組んでおり、高く評価したい。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『子育てショルダーバッグ Hugoo ハグー』

株式会社GRIT

【東京都】

男女の分け隔てなく子育てに役立つプロダクトとしておすすめできるものと評価した。従来品の多くは、子どもをのせる場所に硬い材質のものを入れていることが多かったが、そこを物入れにするという発想は新しい。類似の製品よりも、男性が使っても違和感のない、男女が共用しやすい点で優れたデザインである。

男女共同参画部門



『育児・家事共有サポートアプリ「我が家のトリセツ」』

ビジョン株式会社

【東京都】

我が家の「ナレッジ」が共有、蓄積できるITならではの機能は、伝えることが多い母親にとってもストレス軽減につながる。子育て世帯のちょっとした行動のすれ違いを解決するためのきめ細かいサービスであり、伝えるストレスを気にすることなく、子育てや家事に専念しやすい環境づくりに寄与するアプリケーションとして評価した。

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

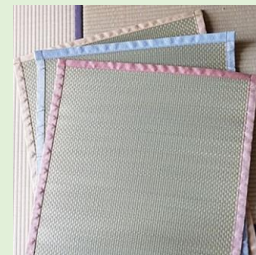


『FLOAT KIDS 子供の成長に寄りそうキッズサングラス（偏光）』

アルファ株式会社

【福井県】

紫外線カットで安全をもたらし、効果的に子どもの目の健康を守ることができるサングラス。また近年、キャンプブームなどでアウトドア・屋外に長時間いる機会も増えている。偏光レンズは乱反射による余分な反射光をカットしてくれるため、裸眼で見るとよりクリアで、釣りの際など水中の様子も見やすい点も評価できる。



『赤ちゃんにやさしい寝ゴザ』

株式会社北川重義商店

【熊本県】

い草の香りにはリラックス効果があり、安眠にもつながることは定量的な研究データもあり、涼しく心地よい眠りをもたらしてくれそうである。乳児がなめても安全なよう、農薬不使用の自然素材にこだわり、肌に跡がつきにくい市松模様の織り方にするなど、伝統的な素材を現代の子育てに合わせて使った作品として評価した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

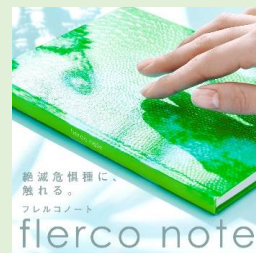


『「アイラブミー」幼児向け包括的性教育コンテンツ』

NHK（日本放送協会）／NHKエデュケーショナル

【東京都】

幼児期の性教育という視点は新規性があり、これを押し進めるための十分なレベルのコンテンツである点が素晴らしい。番組内容がよく練られており、メディアとしては広く伝えるという環境を生かしている点も重要だ。幼児でも十分理解でき、親しみやすいものになっていて、新たなコンテンツ分野を切り開いた感がある。



『flerco note』

株式会社TRINUS

【東京都】

印刷技術を駆使した質感の楽しさに留まらず、使うたびに絶滅危惧種の動物たちに思いがいたる巧妙な仕掛けである。売上の一部は動物保護団体へと寄付され、希少動物保護に間接的に参加できる点もよい。メッセージ性が明確であり、身近なノートというアイテムに着目したことも功を奏している。

第16回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン



『守口市立さくら小学校（学校全体が学びの場 ―地域住民も含めたみんなの学校―）』

株式会社昭和設計

【大阪府】

町の機能を小学校に集約することで、町の住民も集まり、子どもたちを見守る、育てることに共同参画できる取組である点が特に優れている。建築だけでなく、子どもの興味関心をかき立てるソフトの面でも高く評価ができる事例である。小学校の建て替えスキームとしては、独創的で秀逸なものである。



『せんしん未来サテライト』

株式会社日比野設計+幼児の城

【栃木県】

比較的規模の小さい施設ながら、街とのつながり、保護者が気軽に立ち寄れる雰囲気や設え、病児保育機能など高く評価したいポイントが多い。育児ストレスの緩和を目指したいという思いに対して、開放感のある空間構成がうまくマッチした。街の縁側のようなサードプレイスのな作りに好感がもてる。

特別賞（東京都知事賞）



『ミドリ スローコンベックスメジャー』

株式会社デザインフィル

【東京都】

学校やスポーツの現場などで子どもが使うメジャーへの安全性配慮の点で本賞にふさわしいものと判断した。普段から危ないなと思っている製品のデザインに安全性をしっかりと組み込んだ開発姿勢に共感する。目盛りも10センチごとに白黒が色分けされており、視認性が高い。教育の現場、遊びでも使いやすい作品である。

特別賞（TEPIA特別賞）



『coemo』

株式会社カラトミー

【東京都】

AI合成音声技術の活用によって、スマートフォンアプリを通じて声を登録、再現し、多様な感情表現も可能にした。ハンディキャップのある親にとっても有用性のある提案でもある。昨今のAI技術の進展と、子育て支援や子どもたちの感性・創造性を育むためのアプローチが融合した先端的なコミュニケーションツールであり、本賞にふさわしい作品として高く評価した。

特別賞（BEYOND COVID-19特別賞）



『子どもたちの清潔・安全な生活に寄与する

「空気循環清浄機能付ハンドドライヤー」』

三菱電機株式会社

【東京都】

独自調査により、ハンドドライヤーの風による飛沫感染の影響がほとんどないことを確認し、トイレ空間の空気環境を衛生的にすることがより効果的であることに着目し開発された。子どもたちが使いやすい設計も配慮がある。清潔性維持と空気清浄のハイブリッドによりトータルな衛生環境向上に挑む技術開発はBEYOND COVID-19特別賞にふさわしい。



『おうちファクトリーシリーズ』

株式会社学研スタイル

【東京都】

昔懐かしい科学キットを彷彿とさせる、自分で衛生用のグッズを作れる実験キット。衛生用のジェルなどを家庭で作れ、衛生面のみを訴求するのではなく化学反応の面白さなど、多角的な面で学ぶことができる。昨今の衛生対策の必然性と科学をうまく組み合わせた取組として、BEYOND COVID-19特別賞にふさわしい。



『自然に密を防ぐ遊び環境の実践』

株式会社フレーベル館

【宮城県】

子どもたちが楽しく遊びながら、適度な距離を保ち、交錯しない動線を作るためにはどうすればよいかの実証研究でもある。動線の管理、遊びそのものの工夫、空間の仕切り方など、子どもたちに無理な制限を課すことなく自由に遊びながら距離感がとれるように工夫されている。実証研究による成果は今後の密対策に展開、活用できる。

「第16回キッズデザイン賞」実施概要

- | | |
|--------|---|
| 【主催】 | 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 |
| 【後援】 | 経済産業省、内閣府、消費者庁 |
| 【概要】 | <p>キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・サービス・空間・活動・研究を対象とする顕彰制度です。</p> <p>キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に創設されました。</p> <p>子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象となります。</p> <p>キッズデザイン賞を受賞した作品には「キッズデザインマーク」をつけることが認められ、販売促進活動や広報活動などで、その成果を広く社会にアピールすることができます。</p> <p>※キッズデザイン賞での「子ども」の対象は、0～15歳までを指します。</p> |
| 【募集期間】 | 2022年3月1日(火) ～ 5月16日(月) |
| 【応募方法】 | キッズデザイン賞Webサイト< https://kidsdesignaward.jp/ >より受付 |
| 【受賞数】 | <p>受賞数 214点（応募数：383 点）</p> <p>応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。</p> |
| 【部門】 | <p>《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・51点</p> <p>子どもの安全・安心に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子ども向け、あるいは一般向けの製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安心・安全に配慮されたもの。</p> <p>《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・97点</p> <p>子どもの創造性や感性に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子どもの創造性・感性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に役立つもの。また、そこに新たな発想、工夫、手法があるもの。</p> <p>《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・66点</p> <p>子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。</p> <p>妊娠・出産・子育てに関わる人が利用する製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。</p> |

■賞の構成

	子どもたちの安全・安心に貢献する デザイン		子どもたちの創造性と未来を拓く デザイン			子どもたちを産み育てやすい デザイン		
	子ども 部門	一般 部門	クリエイティブ 部門	リテラシー 部門	消費者育成 部門	個人・家庭 部門	地域・社会 部門	男女共同参画 部門
最優秀賞	内閣総理大臣賞 ※第7回（2013年）から							
優秀賞	経済産業 大臣賞	経済産業 大臣賞	経済産業 大臣賞	経済産業 大臣賞	消費者担当 大臣賞	少子化対策担当 大臣賞	少子化対策担当 大臣賞	男女共同参画担当 大臣賞
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞		キッズデザイン協議会会長賞			キッズデザイン協議会会長賞		
特別賞	審査委員長特別賞		審査委員長特別賞			審査委員長特別賞		
	東京都知事賞							
	TEPIA特別賞							
BEYOND COVID-19特別賞								
	キッズデザイン賞（審査通過作品）							

■「第16回キッズデザイン賞」審査委員（所属・役職は2022年4月1日現在）

審査委員長	益田 文和（インダストリアルデザイナー／オープンハウス 代表取締役）
副審査委員長	赤池 学（科学技術ジャーナリスト／ユニバーサルデザイン総合研究所 所長） 持丸 正明（産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長） 山中 龍宏（小児科医／緑園こどもクリニック 院長）
審査委員 【50音順】	赤松 佳珠子（建築家／CAIパートナー／法政大学 教授） 赤松 幹之（産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター名誉リサーチャー） 五十嵐 久枝（インテリアデザイナー／イガラシデザインスタジオ代表／武蔵野美術大学教授） 大月 ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー／アイデア 代表） 岡崎 章（拓殖大学 教授／工学研究科 情報・デザイン工学専攻 主任） 定行 まり子（日本女子大学 教授） 竹村 真一（文化人類学者／京都芸術大学 教授／Earth Literacy Program 代表） 中村 俊介（芸術工学博士／しくみデザイン 代表取締役） 西田 佳史（東京工業大学 工学院 機械系 教授） 橋田 規子（プロダクトデザイナー／芝浦工業大学 教授） 深田 昭三（愛媛大学 名誉教授） 宮城 俊作（ランドスケープアーキテクト／設計組織 PLACEMEDIA・パートナー／東京大学大学院 教授） 森本 千絵（コミュニケーションディレクター／アートディレクター） 山中 敏正（筑波大学 教学マネジメント室長／同大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学 専攻長・芸術系 教授） 渡 和由（筑波大学 芸術系 環境デザイン領域 准教授） 審査委員紹介URL： https://kidsdesignaward.jp/examination/member.html

■キッズデザイン協議会とは

キッズデザイン協議会は、次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、さまざまな企業・団体が業種を超えて集い合うNPO法人です。キッズデザインの理念を広く普及・啓発し、子ども目線での製品・コンテンツ開発が拡大していくことを目的としています。 会員数103： 企業58 自治体28 その他、団体など17（2022年9月1日現在）

【報道関係者からのお問合せ先】

「第16回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内） 大越・小石

TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 MAIL：contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第16回キッズデザイン賞」事務局

TEL：03-5405-2142（平日10:00-17:00）MAIL：2022kids@kidsdesign.jp

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 TEL：03-5405-2141 FAX：03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesign.jp/>

申込み用紙

『第16回キッズデザイン賞』 広報事務局 行

※誠にお手数ではございますが、取材のご意向をご記入の上、**9月27日(火)**までに、
必要事項をご記入のうえ、メールかFAXの返信、フォームへの入力にてお申し込みください。



▲申込フォーム

FAX : 03-6730-9713 メール: contact@kartz.co.jp

フォームURL : <https://forms.gle/61bRWLvEya5BrcKr6>

■日 時 : 2022年9月28日 (水)

※表彰式は、密になることを避けるため会場の入場制限を設ける場合がございます。

■ご取材予定のプログラムにチェックをお願い致します。

オンライン

ご来場

☐
☐

☐
☒

『第16回キッズデザイン賞』 表彰式

10 : 00～12:00 (終了後、会場では受賞作品撮影ができます) ※09 : 45～ 報道受付

『第16回キッズデザイン賞』 シンポジウム

13 : 30～15:00 ※オンラインのみ

<オンラインについてのご案内>

※ オンラインでご参加される方には、別途9月27日(火)までに配信URLをお送りしますので、下記申込フォームに「メールアドレス」を必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。

※ 表彰式終了後、オフィシャル画像をメールにてお送りさせていただきます。

<ご来場についてのご案内>

会 場 : 六本木ヒルズ内49階「アカデミーヒルズ49」
(タワーホール)

アクセス : 日比谷線/六本木駅・徒歩3分 (コンコースにて直結)
大江戸線/六本木駅・徒歩6分

※ご来場される方は、検温などの体調確認やご来場時のマスク着用、受付時の手の消毒などにご協力をお願いします。

※開始15分前より報道受付～開場させていただきます。

※座席とカメラ位置は受付先着順となります。予めご了承ください。

■ 貴媒体名・貴番組名	
■ 貴社名 / 貴部署名	/
■ 取材代表者名(人数)	
■ 取材人数内訳	☐ ペン (名) ☐ フォト (名) ☐ ENG (名)
■ Tel / Fax	/
■ 代表者 メールアドレス	
■ 備考欄	

※ご記入いただきましたご連絡先等は、本イベントの名簿管理およびキッズデザイン賞・キッズデザイン協議会からのご案内に使用させていただきます。

【報道関係者からのお問合せ先】

「第16回キッズデザイン賞」広報事務局 (カーツメディアワークス内)

大越 (070-1288-6423) ・小石 (070-1288-6420)

Tel : 03-6427-1627 Fax : 03-6730-9713 Mail : contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第16回キッズデザイン賞」事務局 Tel : 03-5405-2142 (平日10:00-17:00) Mail : 2022kids@kidsdesign.jp

主催 : 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 Tel : 03-5405-2141 Fax : 03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesign.jp/>